

文学部日本文学科 入学者受入れの方針

文学部日本文学科は、「中京大学の建学の精神」、「中京大学の理念」及び学部が定める「教育研究上の目的（理念・目的）」に賛同し、また、以下に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・態度等を有し、それを土台に学びを昇華させる意欲ある人を、広く求めています。

〈入学者に求める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・態度〉

〔知識・技能〕

文学部での学びは、「社会が必要とする〈日本文学、言語表現及び歴史文化〉の課題に対する問題意識を持ち、その解決方法を探る」ということであり、そのための広い視野と知識が求められます。その基本となる教科を、高等学校段階においてしっかりと学習しておくことが大切です。

- ・「日本文学、言語表現及び歴史文化」を学ぶには、同方面に関する幅広い知識と的確な理解力と柔軟な思考力が必要になります。そのためには、豊かな読書体験を積んでおかなければなりません。文芸作品はもちろん、現代の新聞や内外の歴史書等もしっかり読む習慣をつけてください。高等学校課程における国語関連科目、日本史関連科目等の学習が、強く望まれます。
- ・現代に必要とされる日本語能力は、実に広範なものです。さらに本学部の授業では、自分でレポートを書いたり、プレゼンテーションやディスカッションをしたりしますし、また4年次では卒業研究の作成が必須になっています。そのためには、適切な日本語で「聞く・読む・書く・話す」ことができなければなりません。高等学校課程における言語活動の充実をはかる学習が、強く望まれます。
- ・現代の文化や社会を理解するには、過去の人びとの精神や心性も学ばなければなりません。伝統的な文化遺産や古い習俗等への幅広い教養があつてこそ、現代の多様な社会的事象への関心が深まるのです。そのためには、古今東西にわたる文化や歴史、さらに地理や思想等に関する基礎的な知識が必要となります。高等学校課程における「古典」「日本史」「世界史」「地理」「倫理」等の学習が、強く望まれます。

〔思考力・判断力・表現力〕

- ・自分でレポートや卒業研究を仕上げたり、プレゼンテーションやディスカッションをしたりするには、資料を調査して何が必要かを考えたり見分けたりする力、人に分かりやすく説明できる表現力が必要です。その基礎となるアクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び。調べ学習やグループワークに基づく発表等）に、高等学校在学中から積極的に取り組んでいることが強く望まれます。
- ・高度情報社会では、多様な情報の中から正確な情報を見分け、メディアを通して適切に収集・発信するメディア・リテラシーを高めておく必要があります。それを日頃から意識して、基礎となる思考力や判断力、求められる倫理意識に沿った表現力を磨く努力をすることが強く望まれます。
- ・文学部日本文学科の学びは、人間力を高める学びでもあります。相手の気持ちを思いやる思考力や、自分のふるまいの適否を見分ける判断力、チームワークを作るための表現力など、相手に敬意を持って接することで日々の生活を通して鍛えられる多くの能力があります。これらを身に付けていることが強く望まれます。

〔意欲・態度〕

文学部日本文学科は、大学での充実した学びを達成するため、以下のような意欲を持ち、態度を身に付けた入学希望者を求めます。

- ・主体的に学習する意欲を持っていること。
- ・「日本文学、言語表現及び歴史文化」に関心を持っていること。
- ・解決を必要とする課題を発見し、それを解決し得る上記の知識や能力の修得を目指し、その強い意欲を持っていること。
- ・上記の知識や能力を介して、地域や国内外の社会とつながり、活躍・貢献したいと考えていること。
- ・柔軟な思考力や想像力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと考えていること。

具体的には、各種入学試験要項において、出願資格及び試験科目を指定することにより、高等学校段階までに学ぶべき事項や修得しておくべき資格等を示しています。

入学者選抜において、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うかについては、下表のとおりです。

<文学部日本文学科 入試区分・方法及び評価項目>

入学者に求める「学力の3要素」		一般選抜	学校推薦型選抜			総合型選抜	特別選抜
		A方式 全問マークシートM方式 全問マークシートF方式 得意科目重視型共通テストプラス方式 共通テスト利用方式	公募制 一般推薦 【基礎学力型】	一芸一能 (特I) 推薦	指定校 (特II)推薦 附属校推薦 三重高校特別推薦	グローバル特別入試	帰国生徒入試 社会人入試
知識 技能	高等学校で履修した教科科目について、基礎的な学力を有しているか。 高等学校在籍時に検定試験を受け、資格等を取得しているか。 部活動等で優秀な成績を修めたか。 正確な日本語で「読む・書く・話す」ことができ、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを伝えることができるか。	◎ 筆記試験 又は 大学入学 共通テスト で確認	◎ 筆記試験 (知識・読 解力等を問 う設問) で確認	◎ 筆記試験 (知識・読 解力等を問 う設問) で確認	◎ 筆記試験 (知識・読 解力等を問 う設問) で確認	◎ 筆記試験 (知識・読解 力等を問う設 問) で確認	○ 筆記試験 (小論文) で確認
思考力 判断力 表現力	自らの課題を発見し、その解決に向けて探究する力があるか。 成果等を表現するために、自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる力があるか。	△ 筆記試験 又は 大学入学 共通テスト で確認	◎ 筆記試験 (小論文又は 課題作文を 書かせる設 問) で確認	◎ 筆記試験 (小論文又は 課題作文を 書かせる設 問)・ 志望理由書 ・調査書・ 当日の面接 (口頭試問) で確認	◎ 筆記試験 (小論文又は 課題作文を 書かせる設 問)・ 志望理由書 ・調査書・ 当日の面接 (口頭試問) で確認	◎ 筆記試験 (小論文又は 課題作文を 書かせる設 問)・ 志望理由書 ・調査書・ 当日の面接 (口頭試問) で確認	◎ 筆記試験 (小論文) ・当日の面接 (口頭試問) で確認
主体性 多様性 協働性	主体性をもって、正課内外を問わず様々な活動に参加したか。 ルールをまもり、多様な人々とチームワーク(協働)をつくることができたか。 ベストを尽くすことができたか。 相手に敬意をもって物事に取り組むことができたか。 地域や国内外の社会とつながり、働きかけができるか。	△ 調査書 で確認	△ 調査書 で確認	○ 志望理由書 ・調査書・ 当日の面接 (口頭試問) で確認	△ 調査書・ 推薦基準 で確認	○ 志望理由書 ・調査書・ 当日の面接 (口頭試問) で確認	○ 当日の面接 (口頭試問) で確認